2022年度第２回社保協事務局会議報告

１．日　時　2022年11月15日（火）16：00～17：00

２．場　所　ZOOM

３．参加者　高橋（英）、（保健生協）、簾内、藤田、木村　　　　　下線欠席

４．報　告

　（1）情勢

　（2）中央・他団体等

　（3）この間の特徴的な動き（各委員から）

　　　・10/6に北海道で開催されたwebの集まりで日下部先生の講演を聞く機会があり、とてもよかった。その中身を自分たちの地域医療ネットで紹介したが、介護保険改訂についてはやはり知られておらず、これから広げていく必要がある。（藤田）

　　　・にれの家の利用者で10月からの医療費負担2割化に当てはまった人がいた。個人の収入が変わらなくても世帯収入で引っかかって負担増になってしまった。介護保険でもそれが狙われている。（高橋）

　　　・事業所でクラスターが発生し対応している。（簾内）

　（4）事務局の動き

①なんでも電話相談（11/12）

当日は４件、前日以前のものも含めて5件の相談があった。相談内容には、高齢者の生活の厳しさと介護の負担の重さが如実に表れていた。

　　　②介護保険改善署名

　　　　水戸市内の395介護事業所に発送した（11/11）。

５．協議事項

　（1）学習会（前回から継続）

　　　　瀧澤代表と相談して、下記の通り若者を対象とした学習企画（シンポジウム等）の準備を進めることとした。

　【企画案】

1)企画の時期：2023年5月～6月

2)内容

　①テーマ：社会保障と若者の未来

* 不安定雇用、貧困（の連鎖）、SNS依存、差別、「自己責任論」…私たちの置かれた日本の社会
* 「医療・介護・年金」は高齢者の問題？
* 「保育・児童福祉」は子どもを持つ女性だけの問題？
* 「福祉」は弱者だけの問題？
* 負担をめぐる高齢者と若い世代の分断
* これからの社会をつくっていく人たちへ

　②学習講演：瀧澤先生「　　　　　　　」

　③シンポジウム

　　　　・コーディネーター：瀧澤先生

　　　　・シンポジスト：学生（学年別に複数）

（2）アンケートについて

社保恊と連名にして労働組合で取り組むこととした。

（3）対県交渉

　　　　参考資料として相模原市生活保護ポスターが紹介された。

次回１２月２７日（火）16：00～17:00